

とらすととれいん

No.99 1999

OCTOBER

8月28日の運転は、アンパンマンのアニメに登場するキャラクターの真っ赤な“SLマン” (C11-227)で運転されました。(飾りははずされていましたが...)

夏休み最後の週末とあってトラストレインは、2両増結の5両で運転されました。

前号でお知らせしましたように、オハニの痛みが激しく、緊急を要する窓枠と雨樋の修理がおこなわれました。

8月28日の運転状況

ボランティア参加者	11名
乗客数 下り	162名
上り	103名
売上	15500円
募金	5041円

9月18日の運転状況

ボランティア参加者	20名
乗客数 下り	145名
上り	62名
売上	36000円
募金	14090円

9月18日の運転は、修理を終えたC12で運転されました。(正式には、10月2日の運転からとなります。)また、オハニの塗装が新しくなり、ピカピカになりました。



久しぶりに磨くC12に力が入ります



化粧直しが終わってピカピカのオハニ



久しぶりのC12でのトラストレインは、いきなり3両増結の6両編成で団体客を一杯乗せて元気に走りました。ヘッドマークには、「復活」の文字が入りました。

“祝 復活”の文字が入ったヘッドマーク



シャンペンを開けて、C12の復活を祝う



運転前には、財団とトラストレイン保護管理委員の方々、鉄道サークルでさやかなC12の復活記念式を行いました。増田担当理事により乾杯。C12にはシャンペンをおごりました。

トラストレイン保護管理委員の方々、オハニの補修状況もご覧になりトラストレインにも乗車されました。

オハニの補修状況は大井川鉄道から説明を受ける

トラストレイン保護管理委員会

9月18日の運転の時に、千頭駅でトラストレイン保護管理委員会が開かれました。

C12及び客車の修理状況が大井川鉄道の方からあった後、トラストレインの将来について意見交換がされました。

今後の補修事業としては、スハフ2両の塗り替え、C12の蒸気管等が予想されます。また、乗っていただいたお客様に楽しみながらトラストレインの理解を深めていけるように、博物館的に写真や説明を足してみても、現役時代の写真を絵葉書やテレカにしてみても、などの意見が出されました。今後の活動に役立てていきたいと思います。

補修作業(9月19日)

9月19日は新金谷駅にて客車の補修作業を行ないました。ボランティアは初参加を含めて17名の参加がありました。この日は汗だくなる程の暑さの中での作業となりお疲れ様でした。また、来れなくても物資を送ってくださった方には感謝致します。

次のような作業を行ないました。

1. 車内掲示物の貼りかえ
2. オハニの足まわりの塗り替え



今回は掲示物をパウチし見栄えを良くしました

台車の錆びを落とします



錆び止めスプレーをかけます



他の箇所も含め、仕上げは黒のペンキを塗ります

3. スハフ デッキの剥がれ落とし



粉塵がすごいので保護具をします

4. オハニ 壁部分の補修



表面が剥がれてボロボロになった壁



浮いた部分を接着剤でくっつけます



財団の米山氏自ら文化財の補修に汗を流しました



スハフの車内も接着剤で補強しました

5. その他傷んでいたところの修理



傷みを見つけたら、自主的に修理していきます



今日のメニューは?

補修の後は車内でバイキング形式の昼食をとりました。

女性陣たちが準備してくれたバイキング形式の昼食は、とっても好評でした。

フォト・レポート 8月28日篇

(撮影・酒井 誠)



作業前のミーティングの様様



扇風機の掃除中。なかなか手が届かない所で、
長身の矢吹さんが大活躍



雨樋と窓枠を新品に交換しました。
塗装色の違いにご注目



新品になった窓枠を車内から見る。
これで窓が開きます



Kissが見つかった!
1か月間オハニの荷物室で
寂しがってました



今回の牽引機は、なんと SLマン 夏休み最後の週末
とあって、トラストレインお2両増結の5両編成でした。
(後部3両がオリジナル編成です) 家山～抜里

フォト・リポート 9月18日篇



4面に分散して全てのナンバープレート磨き



並行して入念な点検が進む



財団 増田理事の音頭で乾杯!



C12から取り外した煙管。ポロポロです



家山～抜里に行く、C12164牽引の下り
トラストレイン 今日、6両の長編成

駿河徳山を発車した、下りトラストレイン。走行
中のデッキから身を乗り出すのは止めましょう!



フォト・リポート 9月19日篇(補修ボランティア 於:新金谷)



今回は、愛知学泉大から
リピーター登場!



ただし、母親同伴です



女性陣は、車内の痛んできた
表示類の貼り替えを行いました



意に反し本線寄り側線に留置されたため、
外回りの補修は東側に限定



デッキ部の古いシールを綺麗に除去する



下回りの錆び落としと錆止め
塗装を行った後、塗装を行った



漏水で痛んだオハニの内装を補修する湯本さん



スハフのデッキ天井の痛んだ塗装を剥がす

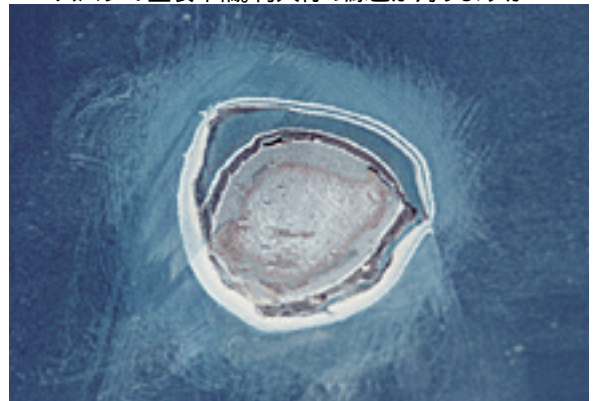
漏水で痛んだオハニの内装母材を補修する後藤さん



デッキ扉の塗装を補修塗装する

カトーの精密技術が生きる!?オハニの表記を丁寧に書き直し

スハフの塗装年輪。青大将の緑色が判りますか?



いんぷおめいしょん

トラストレインボランティアのご案内

11月27日(土曜日)

集合 大井川鉄道新金谷駅待合室 午前10時30分

・通常のトラストレインボランティア作業を行う

11月28日(日曜日)

集合 家山駅構内トラストレイン客車前 午前9時

作業内容

1.客車外板部分のワックスがけ

(コンパウンドが混入されていない純正ワックス?が望ましい)

2.スハフ43外板塗装部の錆が浮き出ている部分のポイント補修

(地金を出し、スプレー式の錆止めを吹き付け、鉄道模型塗装用スプレーで吹き付けて完成)

3.オハニ36荷物室内の整理整頓

以上がメインの作業となります。あとは、今年最後の大井川詣でゆえ、皆で締めてももちろん何かしらの準備はします。1999年は終了。

27日の宿泊は家山の可愛庵 (tel 0547-53-3124) です。

申込 財団事務所へ電話、FAX、はがきで。もしくは、
鉄道サークル事務担当渡辺一男宛電子メール
(nabemoku@nn.ij4u.or.jp)で。

締切 11月24日

会報について

「とらすとれいん」が次号で100号を迎えます。

そこで、何か100号記念にふさわしいテーマがないものかと、広く案を募っております。今のところ、鉄道サークルのメンバーに、

- ・トラストレインの将来像
- ・トラストレインに限らず、保存鉄道の将来像
- ・私にできること(技術的、金銭的その他)
- ・やってみたいこと(実現可能、不可能は問わず)
- ・ソフト、ハードを含めた、技術的な問題点を克服するには

といった、テーマで書いていただくという企画があがっています。

ただし、現状把握、現状での問題点指摘はいっごうにかまいませんが、では、どうしたらいいのか、どうすべきなのか、ご自分なりの提案を必ず盛り込むこんでいただくこととし、これは最低限守っていただかないと、単なる穴のほじくり合いになってしまいますので。

他にも、これといったテーマがあまりあましたら、同封のハガキで下記財団事務所の鉄道サークル宛または鉄道サークルホームページ(<http://www.246.ne.jp/koi-ta/>)の落書き帳に書き込みをお願いします。

なお、締め切りは11月28日頃までとします。

贈呈本紹介

書名 「汽笛のけむり今いずこ」

著者名 佐藤喜一

出版社 新潮社

定価 1400円(税別)



この汽車は、鉄道にゆかりある文学作品を載せて、走ります。かなり使い古された車輛ですし、線路も傷んでいるようですから、滑らかに走れないでしょう。速度も遅いし、揺れも多くて、けっして快適とは言えません。でも、どうぞお乗りになって、しばし汽笛に耳を傾けながら、移りゆく景色とレールを刻む音とを、楽しんでみてください。終着駅は定かではないけれど、あそび心を乗せて旅立ちます。では、出発進行!

鉄道楽人

貫一がお宮を追って乗った人力の鉄道って? 汽車は烈風の中を突き行けりとうたう朔太郎の帰郷列車は特定できるか? 三四郎が郷里から上京するとき乗った列車は?

文明開化の象徴として出発し、近代化とともに歩んだ鉄道。だが今では蒸気機関車は姿を消し、各地に廃線跡を残し、また旧来の路線も大きく変貌した。しかし、鉄道が元気だった時代の汽車旅を、作家たちは生き生きと活字に定着している。その旅の実際を、当時の鉄道事情を探索しつつ、あたかも鉄道探偵のごとく探る。

(こしまき紹介文より)

日本ナショナルトラスト鉄道サークル 会報 とらすとれいん 第99号 1999年10月号

〒100-0005 千代田区丸の内3丁目4番1号 新国際ビルディング810区 Phone 03-3214-2631 Fax 03-3214-2633